



Q 2018年2月の注目イベントは？

A 日・米・ユーロ圏の金融政策決定会合はお休みの月となります。主要新興国で金融政策決定会合が相次いで開催される予定です。

- 米国、ユーロ圏、日本などの金融政策決定会合はお休みです。
- 米国ではパウエル理事が次期連邦準備制度理事会（FRB）議長に就任します。金融政策はこれまでと同様「緩やかなペースでの金融緩和解除」が踏襲される可能性が高いと考えられます。また、2月中に予算教書、大統領経済報告書が発表される予定です。
- 新興国では、ブラジル、インド、メキシコなどで金融政策決定会合が開催されます。各国ごとに対応が異なる可能性があります。
- 日本では、2017年10-12月期のGDP成長率が発表されます。

●各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2018年2月）

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:1月ISM製造業景況指数 2日:1月雇用統計 3日:イェレン連邦準備制度理事会(FRB)議長任期満了(次期FRB議長はパウエル理事) 5日:1月ISM非製造業景況指数 6日:12月貿易収支	2日:ユーロ圏12月PPI 5日:ユーロ圏12月小売売上高 7日:ドイツ12月鉱工業生産 8日:イングランド銀行(BOE)金融政策委員会 9日:英12月鉱工業生産	1日:インド2018年度政府予算案発表、中国1月財新製造業PMI 6日:豪州金融政策決定会合((予)据え置き) 6-7日:ブラジル金融政策決定会合((予)0.25%の利下げ) 7日:インド金融政策決定会合((予)据え置き。政策姿勢がタカ派に向かうかに注目)、中国1月外貨準備高 8日:メキシコ金融政策決定会合((予)利上げの可能性も)、中国1月貿易収支 9日:中国1月CPI・PPI 9~25日:平昌冬季オリンピック	7日:12月景気先行CI指数・景気一致CI指数、12月毎月勤労統計 8日:12月国際収支、1月景気ウォッチャー、1月東京オフィス空室率
13日:1月中小企業景況指数 14日:1月消費者物価指数(CPI)、1月小売売上高 15日:1月鉱工業生産、1月生産者物価指数(PPI) 16日:1月住宅着工件数、2月シガン大学消費者センチメント指数(速報) 21日:1月中古住宅販売件数 26日:1月新築住宅販売件数 27日:1月耐久財受注(速報値)、12月S&Pコアロジック/ケース・シラー米住宅価格指数 28日:10-12月期GDP(2次) 2月中:米国予算教書発表、米大統領経済報告書発表	13日:英1月CPI・PPI 14日:ユーロ圏10-12月期GDP(2次)、ドイツ10-12月期GDP、ユーロ圏12月鉱工業生産 15日:ユーロ圏12月貿易収支 16日:英1月小売売上高 22日:英10-12月期GDP(2次)、ドイツ2月IFO企業景況感指数 27日:ユーロ圏2月消費者信頼感、ドイツ2月CPI 28日:ユーロ圏2月CPI(速報)、ドイツ2月失業率	14日:タイ金融政策決定会合 15日:インドネシア金融政策決定会合、マレーシア10-12月期GDP 15~21日:中国春節休暇 16日:光明星節(金正日北朝鮮総書記誕生日) 19日:タイ10-12月期GDP 28日:インド10-12月期GDP、香港10-12月期GDP、中国2月製造業・非製造業PMI	14日:10-12月期GDP(1次)((予)+1.4%(前期比年率)) 15日:12月機械受注 19日:1月貿易収支 21日:12月全産業活動指数、2月日経製造業PMI 23日:1月全国CPI 28日:1月小売業販売額、1月鉱工業生産(速報)、1月住宅着工件数

(注) 2018年1月26日現在。日付は現地時間。予想はすべて三井住友アセットマネジメント。

(出所) 各種報道等より三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。